

Sculpture



自立心を大切にした個別指導

生徒それぞれの資質を伸ばす徹底した個別指導は、指導する講師の高い技術力と充実した設備によって体现されますが、何よりも重視しているのは生徒の自立心を大切にすることです。塾生それぞれが自己の課題を自ら考え選択し、自信をもって課題に取り組めるように、必要に応じて個別のカリキュラムや課題で対応し、講師が万全の体制でサポートします。



「確実な大学合格」と「将来を見据えた実践力」に結びつく独自のゼミ

型取りゼミ、テラコッタゼミ、カービングゼミ、解剖学ゼミ、彫刻史ゼミなどの豊富な独自のゼミを実施します。主に実材制作で実践的に彫刻を体験し、通常の入試課題だけでは理解できない部分を補います。ゼミの体験は、入試課題で求められる専門的技術の理解につながり、確実な大学合格と同時に将来の仕事の基盤となるような確かな実践力に結びつきます。



彫刻だけが表現できる世界がある。
受験生としての鍛錬と、作家を志す姿勢を両立しよう。

彫刻

高卒生 対象	彫刻専攻	本科	[月～金]	9:30-16:30
	美大学科	本科	英語	[火・木] 18:30-20:30
			国語	[水・金] 18:30-20:00
※学科は別途お申し込みが必要です。詳しくは62ページをご覧ください。				
高2・3生 対象	彫刻専攻	専科	平日5日専科	[月～金] 17:30-20:30
			平日3日専科	[月～水] 17:30-20:30
平日3日専科は、部活やその他の理由で、平日5日専科に通えない方のためのコースです。学期の途中で平日5日専科に変更することができます。				
高3生 対象	美大学科	専科	[土]国語	13:30-15:00 / 英語 15:10-16:40
※学科は別途お申し込みが必要です。詳しくは62ページをご覧ください。				

指導スタッフ

講師一覧 P.80

宮原高広 / 二藤建人 /
笠原悠介 / 中田愛美里



幅広い実践力がつく、独自のカリキュラム

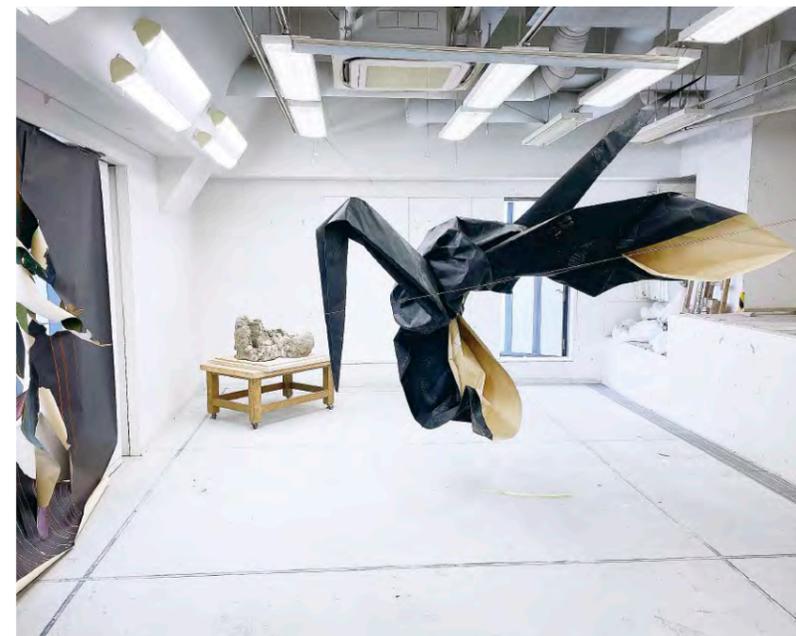
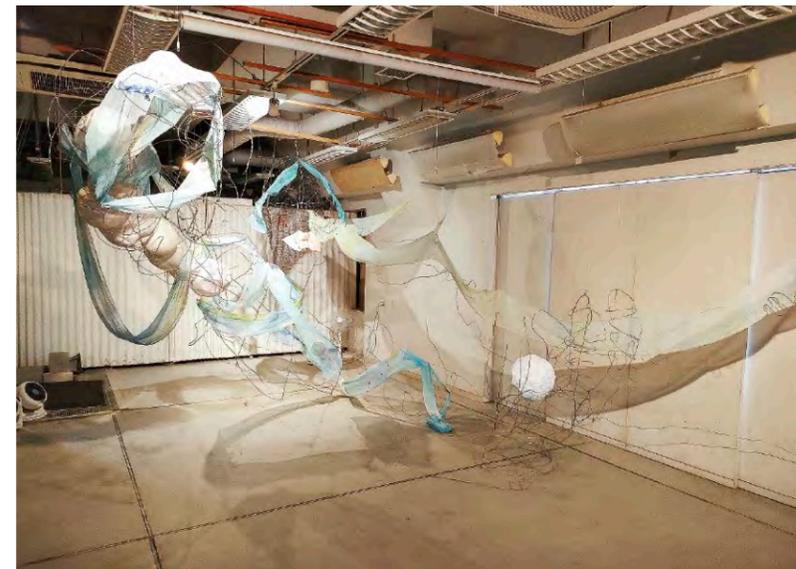
CURRICULUM		
春 期 講 習	1 学期	3 学期
	基礎的な知識と理解	各大学別の入試対策
夏 期 講 習	2 学期	直 前 講 習
	応用力の養成:実材の体験と自己表現の探求	

ドローイング

美術・芸術大学の彫刻科入試では試験時間内で可能な限り精度を上げた実技を行える受験生、いわゆる“絵がうまい”とされる経験豊富な浪人生が合格する傾向があります。しかし近年では鍛錬で習得した技術ではなく、彫刻として良いという抽象的な感性を求められる傾向にあります。

では経験の乏しい受験生はどのような対策が求められるのでしょうか？

河合塾美術研究所新宿校では、ドローイングに重点を置いています。この授業では描画材を彫刻の素材と捉え感性を意識し、対象の持つ豊かな表現を受容する訓練を行います。ここでは塾生が行った作品を紹介します。



合格者の声



熊谷 拓 さん
武蔵野美術大学 彫刻学科
千葉・専修大学松戸高校

何も知らない状態で入塾してから浪人した2年間丁寧に教えていただきありがとうございます。彫刻についても、デッサンについてもロクに考えられなかった人間が少しずつ考えられるようになってきました。



前川 実凛 さん **現役合格**
多摩美術大学 彫刻学科
東京造形大学 彫刻専攻領域
東京・東洋高校

私が河合塾の彫刻科に来たとき、デッサンはとても苦手で、なかなか上達せず、粘土も、模刻で全然違うものができてしまったり、良いアイデアが思いつかなかつたりと、成長しない期間があったのですが、最後の直前講習で、先生たちの指導のもと、実力をかなり上げることができました。最後の最後に自分の実力をかなり上げることができて良かったです。一生懸命教えてくださった先生方、ありがとうございました。

東京藝大対策

東京藝大の試験は主に石膏像のデッサンをする1次素描、そして1次を通過した後、主に塑造作品を制作する2次彫刻があります。1次試験では正確なデッサン力、描写力が求められます。2次試験では立体や構造を理解した塑造力を求められますが、近年では彫刻としての魅力を生かした発想も求められるようになってきています。ここでは実際に塾生が制作した東京藝大の対策作品を紹介します。



石膏デッサン バジヤント 木炭 6時間



彫刻 羽/自刻像 水粘土 6時間



彫刻 薪とロープ/時間と空間 水粘土 6時間



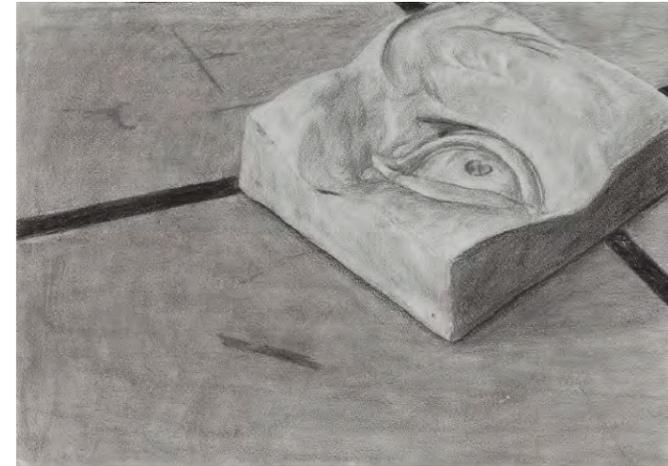
彫刻 自分/ベルニーニ 水粘土 12時間

飛び級!!

河合塾美術研究所では高校2年生や1年生でも彫刻志望であれば受験科に在籍し現役生が多く在籍する専科や講習会では浪人生と共に実技授業に参加できます。

近年、特に東京藝大の現役合格を目指し、早期から受験対策をする学生が多くなっている傾向にあります。

ここでは彫刻科の専科に在籍している高校1年生や2年生の作品を紹介します。



石膏デッサン 身体パーツ 木炭 9時間



石膏デッサン 身体パーツ 木炭 9時間



彫刻 自刻像 水粘土 9時間



デッサン 自分/人工知能 木炭 3時間

現役合格

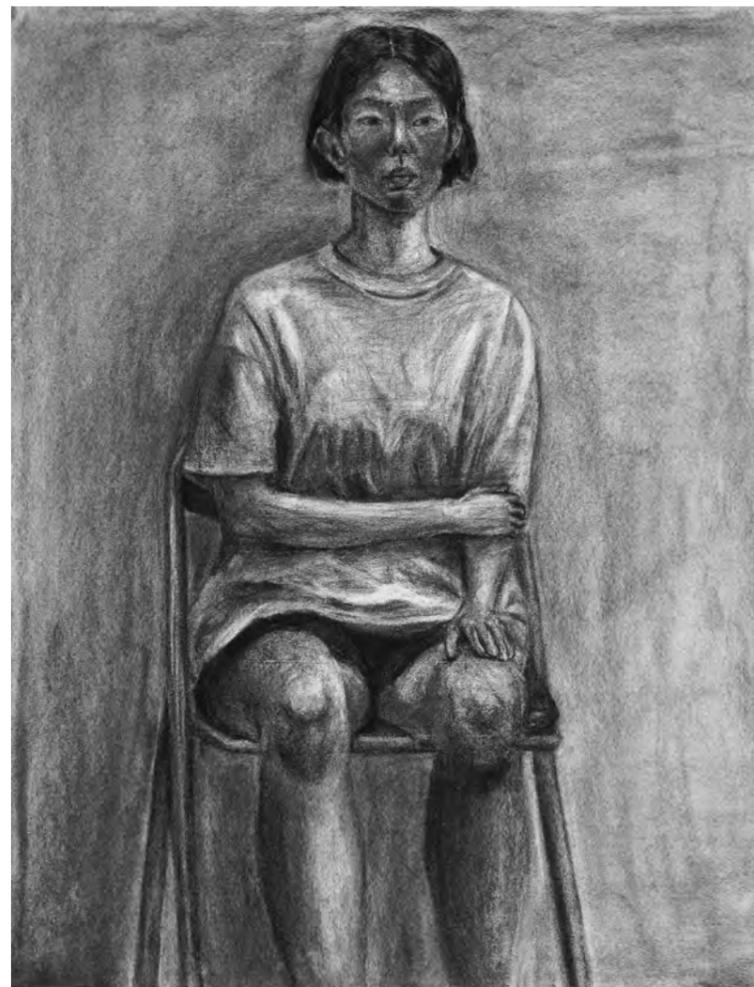
近年各大学彫刻科の試験で重要になってきている技術として彫刻的思考が挙げられます。河合塾美術研究所では前のページで紹介したドローイングの他に立体的な発想力をトレーニングするカリキュラムを豊富に実施しています。彫刻や立体を初めて作った高揚感を忘れることなく、自由に学生一人一人にあった受験方法を提案します。ここでは実際に授業で行った課題を紹介します。



石膏デッサン 型取りした自身の手 鉛筆 6時間



彫刻 時間と空間 水粘土 6時間



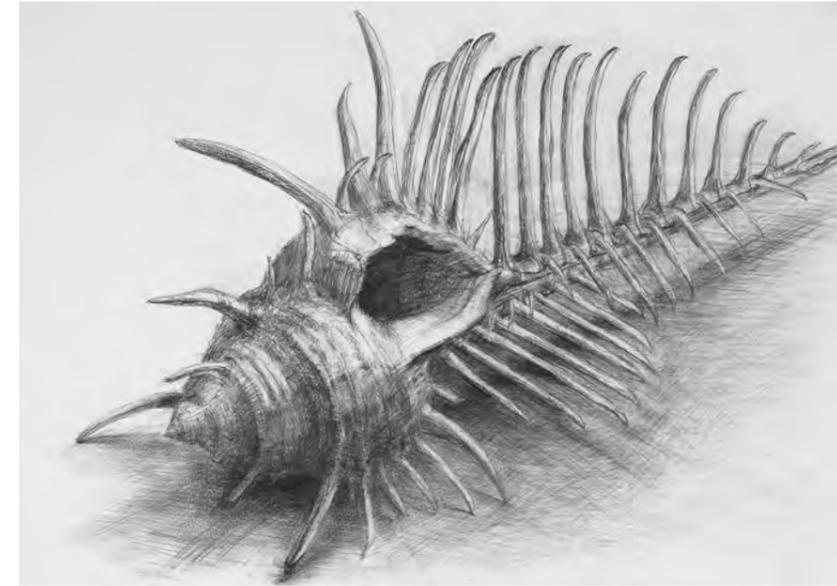
モデルデッサン 着衣座像 木炭 9時間



彫刻 うさぎ 水粘土 12時間

私大対策

通年で養った基礎力をもとに各大学の傾向に即したカリキュラムを学生の志望校に合わせて提供します。武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、日本大学芸術学部、女子美術大学の対策の他、関西や中部といった遠方の大学、美術系公立大学の対策も行っています。ここでは近年の私大対策で現役生が制作した作品を紹介します。



デッサン ホネガイ 鉛筆 6時間



モデルデッサン 着衣座像 木炭 9時間



多摩美過去問 自画像/新聞紙から任意の記事(家長制的社会) 木炭 デッサン塑像合わせて6時間



多摩美過去問 立体/新聞紙から任意の記事(家長制的社会) 水粘土 デッサン塑像合わせて6時間